

二〇一〇年度 日本語・日本文学科 卒業研究(論文) 題目

ジェンダー論

恋歌における詠作史

―「忘れ草」「忘れ貝」について―

恋歌の中の贈答歌

太宰治論

客家について

日本文化論

有栖川有栖論

『枕草子』における美的表現について

日韓におけるオノマトペの使用意識の諸相

西鶴作品における女性の言葉づかいの研究

村上春樹「世界の終りとハードボイルド

・ワンダーランド」論

『竹取物語』論

泉鏡花『化銀杏』論

ドラゴンクエスト史とその周辺

幸田文論

戦争の記憶論

『うつほ物語』における琴と登場人物

宮部みゆき論

片野 瑞与

前田 萌子

三木 夏子

大浦 優花

佐々木佳奈子

鈴木 杏奈

前田 好美

相澤 真美

阿部友加里

池田みどり

石岡明日香

石原亜由美

伊藤 舞

井野田愛子

梅田 彩香

大岸 恵

大久保希和

大嶋美貴子

化粧品における広告ことばの変遷

裁判員裁判時代の法律のことば

―わかりやすい法廷のために―

長野まゆみ論

三浦梅園『梅園叢書』論

題詠「待恋」の表現史

和歌に詠まれる鳥について

―ほととぎすを中心に―

若者特有のあいまい表現

―高年齢層への広がり―

「風」をめぐる恋歌について

宮崎駿作品論

「ナラタージュ」論

『うつほ物語』秘琴伝授に見る家族構造

重松清論

異人たちを表象する役割語の変遷

―近現代のマンガを資料に―

口頭会話文における江戸語について

円地文子論

岩井俊二論

大谷 美貴

岡崎 真依

小川 礼奈

荻原 裕里

小田真理奈

柏 綾奈

加瀬 敦子

菊地恵理子

木田昇友子

北野 斐菜

後藤 愛

小林 成子

小松 礼奈

近藤 宏乃

齊田 春菜

齋藤和佳那

『うつほ物語』源涼について

佐々木雅子

『天草版平家物語』における分かち書きについて

中井竹山論—竹山の孝観について—
もじり百人一首の狂歌論

竹田奈津美
玉井 絵梨

都賀庭鐘と陰陽五行

笹本 美咲
佐藤 育恵

鬼カルチャーと現代社会

佐藤 智美

現代文化論

澤口 恵美

『豊饒の海』論

澤口 舞

『病』をめぐる表現史

柴田 亜希

平安時代の『病』を中心に—

柴山ひかり

学生における若者ことばの

柴山ひかり

使用実態とその意識

柴山ひかり

マスメディアにおける談話行動の分析

柴山ひかり

—インタビュー番組における司会者の

柴山ひかり

あいづちを中心に—

柴山ひかり

現代メディアにおけるお嬢様言葉

柴山ひかり

『竹取物語』への試み

柴山ひかり

—登場人物達に絡む藤原批判—

柴山ひかり

鶴屋南北論

柴山ひかり

—仕掛けとしての動物をめぐる—

柴山ひかり

よしながふみ論

柴山ひかり

泉鏡花『草迷宮』論

柴山ひかり

道元の和歌について

柴山ひかり

柳亭種彦『近世怪談霜夜星』論

塚原 彩

『源氏物語』における美的表現について

塚谷 有加

類義語の意味分析

辻 裕子

明快な意味記述を目指して—

辻 裕子

『こころ』論

辻 裕子

ファンタジー論

辻 裕子

萩尾望都論

辻 裕子

灰谷健次郎論

辻 裕子

『大鏡』の九条流一族

辻 裕子

パソコンメールの対照研究—日本語母語話者と

辻 裕子

台湾人日本語学習者の依頼表現—

辻 裕子

恋川春町論—寛政の改革から見る春町作品—

辻 裕子

デイズニールランド論

辻 裕子

釧路地域における

辻 裕子

北海道方言の世代別使用について

辻 裕子

嫉妬史

辻 裕子

『古事記』から『今昔物語集』まで—

辻 裕子

村上春樹論

辻 裕子

『うつほ物語』後編における仲忠

辻 裕子

『砂の女』論

辻 裕子

並木宗輔論—三つの「高師直」像—

林 麻実

谷崎潤一郎『猫と庄造と二人のをんな』論

平田美可子

サブカルチャー論

福田 沙織

『紫式部日記』論—光と陰の構造—

藤川 愛友

記号の利用と視覚的效果—「ケータイメール」における

感情伝達の表現—

本田ちさと

『源氏物語』における

「すくせ（宿世）」の表現

牧島 麗

『うつほ物語』における琴の一族の「孝」

三嶋久美子

宮沢賢治論

水谷 安里

谷崎潤一郎『細雪』論

宮崎 雅子

現代の神話—小室哲哉をめぐる—

宮武 聖子

中井履軒『華胥国歌合』論

—夢と虚構を視座として—

村田 由佳

嶽本野ばら論

村中 彩乃

自然を対象とする『万葉集』における美的表現

室 七々子

ミステリ論

森 智美

洒落本における遊女語

森 真由美

若者言葉使用の実態

—男女差と中性化について—

森 みなみ

〈軍記物語〉の中の和歌

—別れの場面を中心に—

現代ミステリ論

現代の物語におけるカメラの悪意的立場

—カメラの存在が齎らした功罪—

夏目漱石『こころ』論

『平家物語』における人称の表現について

キリシタン語学書における

最高権力者を表す表現について

都賀庭鐘論—日本の伝承・文学との関わり—

中野重治論

〈英語文化学科へ提出〉

The Meaning of British Fantasy

〈文化総合学科へ提出〉

DVと法

生体臓器移植をめぐる医学的・社会的状況

知的財産権

山口恵理子

山口 理美

吉村まどか

米森 茜

脇川詩保里

和田 千晶

渡邊亜由美

渡邊 早紀

梶原 円

石川真梨絵

木下 美波

館山 沙奈